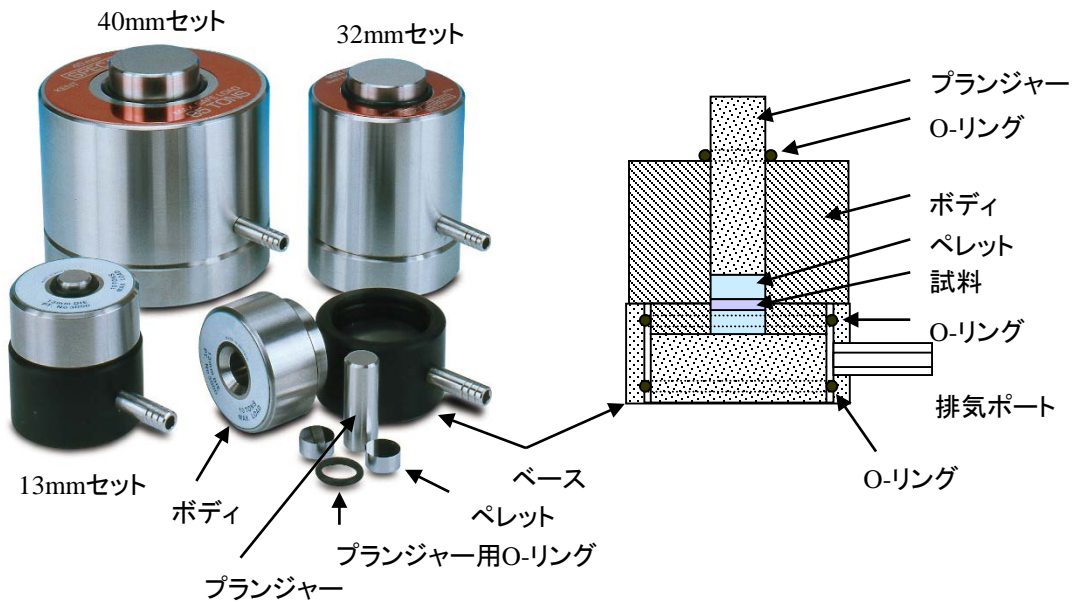


油圧プレスによる錠剤作成、取出手順



排気ポート付きペレットダイスの構造

1. ダイスへの試料の挿入

ベースにボディをセットし、ペレットの鏡面を上にして1個を入れます。

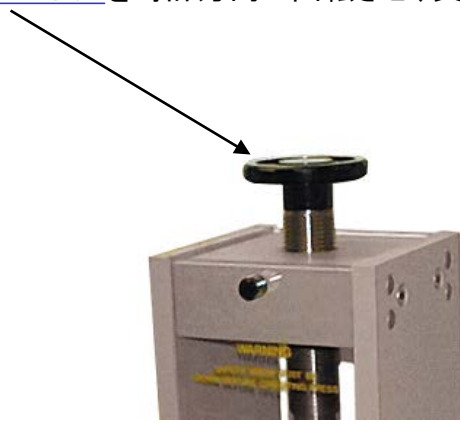


ペレットが下まで落ちない場合は、プランジャーで押して下さい。ペレットが下に落ちたら適量の試料をスパチュラなどで入れます。試料挿入後、ペレットの鏡面を試料側にして入れます。その後、プランジャーで下まで押します。



- ※ 赤外測定用KBr錠剤を作成する場合は、ここで減圧ポンプと排気ポートを真空ゴムホース等で接続し、減圧した状態で次の行程に移ります。
使用するKBrは良く乾燥された粉末を使用し、予め乳針などで粉碎し、試料と良く混合しておきます。
プレス後は真空ゴムホースを外します。

2. ダイセットを油圧プレスにセットします。この時プランジャーが中央に位置するようにします。セットしたら、油圧プレス上部のリードスクリューハンドルを時計方向に回転させ、支持棒をプランジャー上部に接触させます。



3. 支持棒がプランジャーに接触したら、荷重をかけます。はじめにプレッシャーリリースハンドルを時計方向に回し、閉めます。つづいて、ポンプハンドルを前後方向に繰り返し動か(ポンピング)します。やがて圧力ゲージの針が動き始めますので、目的の荷重値までポンピングします。ポンピングを止めると少しずつ圧力が下がりますので、必要であればポンピングします。目的の荷重でしばらく保持します。保持時間はダイサイズ、試料により異なりますが1分から数分必要で、試行します。



※ 荷重上限を設定出来ます。時計方向に回すと高い荷重になります。このツマミは反時計方向に回しきらないで下さい。回し過ぎると中の金属ボールを紛失すると同時に油漏れを起こします。荷重上限は使用するダイセットの上限以上には設定しないで下さい。

4. 目的の荷重と荷重時間が経過したら、プレッシャーリリースハンドルを反時計方向にゆっくりと回し荷重を開放します。

5. 荷重が開放されたら、リードスクリューハンドルを反時計方向に回し、ダイセットを取り出します。



6. ダイスセットのボディをベースから外し、プランジャーを下向きにし、取り出しリングを図の様にセットし、再度、油圧プレスにセットします。



6. 上図右のようにダイスセットがセットされたら、リードスクリューハンドルを時計方向に回しながらペレットがボディから出てくることを確認します。

手で回した時、堅くて回らないようであれば、荷重時と同じ要領で、ポンピングします。



7. ボディから錠剤が取り出せる様になるまでプランジャーを押しします。

錠剤を取り出した後は、ボディ内面、ペレット、プランジャーなどをクリーニングし、乾燥した場所に保管します。

水分などが付いたまま放置すると、錆が発生しますので、ご注意ください。



お問い合わせは(株)テクノサイエンス 分析機器営業部まで:

<http://www.techno-lab.co.jp> Tel: 043-206-0155 Fax: 043-206-0188